

庵我福祉だより

しあわせ庵我

第45号

令和2年8月

発行

庵我地区
福祉推進協議会

新型コロナウイルスに

負けるな



庵我地区福祉推進協議会会長

安井自治会長

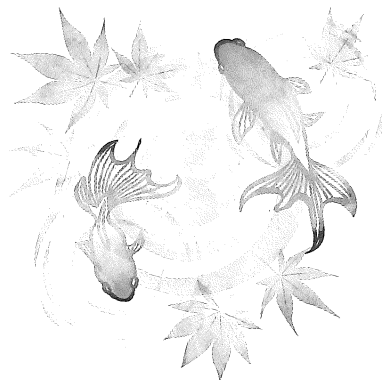
森 本 高 夫

「庵我地区自治会会長」会長 「庵我地区福祉推進協議会」会長の職に就かせて頂いて、早3ヶ月が経ちました。

令和2年度が始まる矢先に、新型コロナウイルス感染症拡大が近畿地方では、大阪府、兵庫県が特定警戒都道府県に指定され、大阪と兵庫県の往来自粛を呼び掛け、三密を避けるために10人以上の集まりを自粛するように言われて、中学校、小学校の卒業式、入学式が来賓なしで行われました。

庵我地区福祉推進協議会も総会が開けず庵我地区の皆様には書面で報告させて頂きました。ご協力有難うございました。

4月7日には7都道府県に緊急事態宣言



解除されており、自粛も緩和され、人々の外出も増えてきており、第2波がでていところもあります。幸いにして福知山市では、あまり感染が拡大せず現在は収まっておりませんが、まだまだ三密を避け手洗い、うがい、マスク着用、できることはしてウイルスの終息を願うばかりです。

私の住む安井自治会も戸数が28戸と8自治会の中では一番戸数が少なく人口の割合も高齢者宅が半数近くに成っております。少人数であれば区民に周知するのも簡単です。少人数ならではのメリットもあります

が発令され、

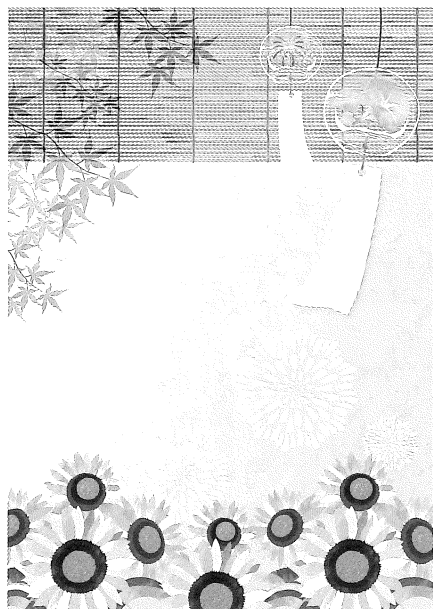
その後16日には全国に拡大されました。新型コロナウイルス感染症の拡大が現在は収束気味で、緊急事態宣言は

が

が、やはり人数が多いほうが区の行事をするにも良いような気がします。これからも少子高齢化が進み、空き家などが増えていく傾向にあります。

安井に生まれて、庵我で育ちこれからも少しでも区民の皆様とひいては、庵我の住民として微力ですが少しでもお役に立てればと思っております。

庵我地区福祉推進協議会のみますの発展と庵我地区の皆様のご健康を願い、これからも宜しくお願い致します。



あいたついで心をむすぶ

明るい庵我

地域ぐるみであいたつの輪を広げましょう

子どもは社会の宝

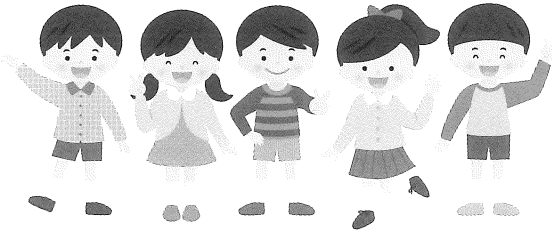


庵我小学校 校長

浅尾敏彦

庵我小学校の校舎の軒先には、たくさん
のツバメが巣を作り、親鳥たちは毎日とて
も忙しく飛び回っています。朝から聞こえる
さえずりは、昔から「土食て虫食て口渋い」
などと聞きなされます。また、ツバメはこ
とわざに使われたり、益鳥として大切にさ
れたりすると共に、巣を商売繁盛や家内安
全の印として生活の宝にしています。

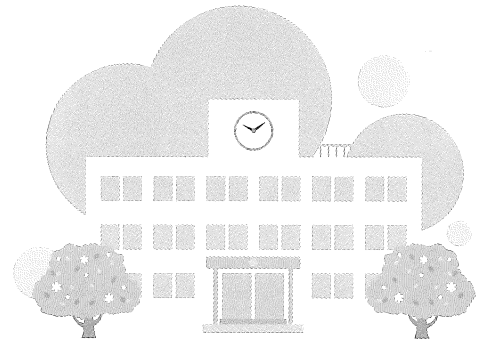
本校は、アンガハッピー
スや地域の皆様にお世話
になつて体験活動、クラ
ブ活動、地域見学等、
様々な学習が充実してい
ます。地元の方々や地域
とつながり続けていると
いうことは、人が成長す
る過程においてとても大
切なことです。「子どもは
社会の宝」というように、
庵我っ子たちは地域や地
域の方々の大きな愛に包



まれて育ち、とても
幸せだと思えます。
まさに地域の力は
子どもたちの心に
歴史や伝統、誇り
を育て、さらに周り
の人やものへの感謝
の気持ち育てる
「人づくりの礎」と
なっているのではな
いでしょうか。

今後、今の子どもたちが、将来の社会を背
負っていくこととなります。だからこそ、家
庭だけでなく地域や社会など総がかりで子
どもたちとよいつながりを持ち続け、よい環
境の中で多くの大人が子育てに関わること
がとても重要だと思えます。そして、この関
わりはやがて関わる側に代わり、次の子ど
もたちを、地域を、社会を大切にしてくれ
ると思えます。

時が来れば庵我っ子たちも巣立つ時が来
ます。私たちは、しっかりと自分の将来を切
り拓き進んでいける力を身に付けられるよ
うに、子どもたちと向き合っていきたいと思
います。今後とも、本校教育推進のためにご
支援・ご協力を心よりお願いいたします。



思いやり



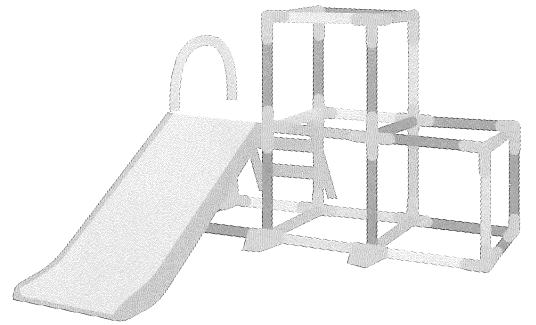
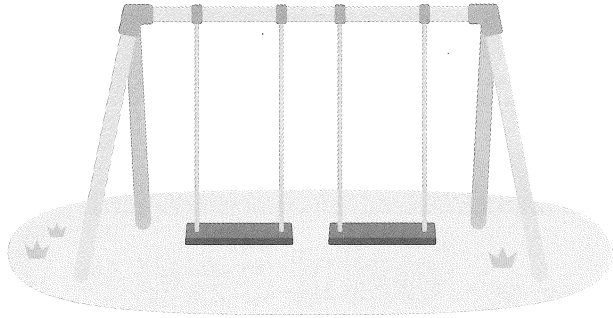
庵我児童館長

片山 ユカリ

庵我地域の皆様には日頃より児童館運営に御支援、並びに御協力をいただいております。この四月より庵我児童館長として着任させていただきました。

「こんにちは。」「新しい館長さんや。」子どもたちが声をかけてくれ、私自身もいろいろな方々との出会いを楽しみにしていたところ、世界的猛威を振るう新型コロナウイルスで、児童館も四月中旬より約一ヶ月ほど休館の措置をとることとなりました。静かな児童館の中で職員と共に「今、出来ることをしよう。」と、まず館外の環境整備、そして館内の清掃に取りかかりまし

た。乳幼児ルームの消毒や、授乳スペースの設置、おもちゃの片付けも写真を使ってわかりやすく：と親子で安心して遊べる工夫を施し、会議や書道教室などで使われてきた学習室や廊下やロビー、遊戯室などを床掃除、ワックスがけをし「きれいになったと気付いてくれるかな！」と子どもたちの喜ぶ顔を思いながら仕上げていきました。



気が付くと温かい春の陽気から、汗ばむ初夏の季節に変わり、現在、館内には子どもたちの笑顔が戻ってきています。

例年通りの事業の計画が進まず、また来館時には手洗い、消毒、マスクの着用や密をさけるなど規制を強いることも増えました。初めは抵抗感のある子もいましたが学校や家庭の協力もあり【自分を守ること、相手を守ること】として自然に取り組めるようになってきたように思います。一日でも早い終息と誰もが安心して過ごせる生活が戻ることを願っています。

【思いやり算】 人を笑顔にする算数
『+たす』 たすけ合うと大きな力に
『-ひく』 ひきうけると喜びがうまれる
『×かける』 声をかけると一つになれる
『÷わる』 いたわると笑顔は返ってくる
一人ひとりの心づかいが、この算数の大きな答えになるはずです。この大変な情勢の中、思いやりの心を持って笑顔で過ごしていきたいと思えます。



新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

編集後記

本号は新しい編集委員での最初の発行となりました。令和二年度がより良い時代となりますよう気を引き締めていきたいと思えます。

さて、「しあわせ庵我 令和二年八月第四十五号」の発行に際して、たくさんの皆様にご協力いただき誠にありがとうございました。

ご意見ご寄稿がありましたら、是非お寄せ下さい。元気で明るい地域作りに一層のご協力をお願いします。

令和二年八月

編集委員

浦岡 正敏	片山 ユカリ
塩見 明実	塩見 喜美子
塩見 均	

